

Nutanix Cloud Clusters (NC2) on AWS

よりシンプルで迅速、費用対効果にも優れたAWSとのハイブリッドクラウド。

組織は Nutanix Cloud Clusters (NC2) on AWS によって、AWS でのハイブリッドクラウド導入を加速し、クラウド移行クラウドディザスタリカバリ(DR)、データセンター拡張、アプリモダナイゼーションをより費用対効果に優れたソリューションで実現できます。

NC2 は、Nutanix Cloud Platform (NCP) のパブリッククラウド上への展開モデルです。AWS 内の Nutanix Cloud Infrastructure (NCI) ソフトウェアのシームレスな展開を実現します。ハイブリッドクラウド環境をまたいだ一貫したIT管理、プロセス、手順により、NC2 は顧客がクラウドジャーニーの加速、クラウド運用のシンプル化、クラウド効率性の向上を実現します。

製品ユースケース

クラウドへの移行

リフトアンドシフトによるインテリジェントなワークロード配置でクラウドジャーニーを加速させ、複雑さやリファクタリングコストを伴わずにアプリとデータを簡単に移行できます。

クラウドディザスタリカバリ(DR)

DR 環境を 1-クリックでパブリッククラウドに構築できます。オンデマンドの弾力性を得ると同時に、完全なインフラ制御を維持。複数の DR サイトを管理するコストと負荷を軽減します。

データセンターの拡張

地理的な拡大、VDI ワークロード、季節的なワークロード、開発/テスト、M&A、サービス統合などに必要な容量をオンデマンドで迅速に拡張します。

特徴と機能

ハイブリッドクラウド管理

- 統合管理コントロールプレーンでクラウドにまたがるアプリ、データ、セキュリティの管理をシンプル化。
- コードを変更することなく、ハイブリッドクラウド内のワークロードをシームレスに移行
- AWS アカウントを利用することで、複雑な設定を伴わずに既存のアプリと AWS サービス間の移行・統合を合理化
- 短い目標復旧地点 (RPO) と迅速な目標復旧時間 (RTO) のオプションで、オンプレミスと AWS の間で多層型ディザスタリカバリ (DR) を構築。あるいは、より長い RTO のアプリの場合は AWS S3 ストレージを活用
- AWS EBS統合でクラスタストレージをオンデマンドに拡張

主なメリット

- アプリケーションの変更を一切伴わない移行で AWS の導入を加速化し、価値実現までの時間をさらに短縮
- Kubernetes、データベースサービス、AI などの Nutanix サービスでアプリケーションをモダナイズして、ネイティブクラウドサービスと統合
- AWSベアメタル上の密度と費用対効果を高め、マイクロ浪費を排除
- 既存のAWSアカウントと仮想プライベートクラウド (VPC)の統合でハイブリッドクラウドを簡素化
- ポータビリティにより、オンプレミスとAWSクラウド間で Nutanix ライセンスを柔軟に移行可能
- 30 を超える AWS のリージョンと 9 つのベアメタルインスタンスタイプにアクセスして、広範な可用性を実現
- マルチクラウドスナップショットテクノロジーで可能となる、ジャストインタイム (JIT) のディザスタリカバリ(DR)キャパシティ構築で TCO を削減
- AWS S3/EBS との統合により、ビジネスクリティカルなアプリケーションを多層的にディザスタリカバリ保護

インテリジェンスを備えるインフラストラクチャー

- オンプレミス、エッジ、パブリッククラウドにまたがるクラウド運用とライフサイクル管理をシンプル化
- AWSにおける手動のクラスタ構築を排除し、API駆動で、NC2を自動化し、価値創出を実現
- インテリジェントなラックアウェアネスとホストの自動修復、さらには障害時のノードの自動リカバリによって、計画外停止に対するインフラストラクチャーの回復力を確保
- クラスタを数分で調達、構築時間は1時間未満
- AWSのベアメタルでエンタープライズレベルのアプリケーション性能、回復力、データ保持を実現
- ネットワークオプションがAWSのサービスに対する低レイテンシーのアクセスを提供する一方、Nutanix Flow Virtual Networking がクラウドからクラウドへのシームレスな移行を円滑にし、統合と柔軟性を実現

柔軟性と効率性

- 進化するビジネスニーズに応じて、柔軟なNutanixライセンスをパブリッククラウドに移動
- オンプレミスとNC2 on AWS間でアプリケーションを移動し、柔軟なワークロードの配置を実現
- Nutanixクラウドマネージャー (NCM) でオンプレミス、ネイティブクラウド、NC2 on AWSにまたがるコスト可視化とガバナンスを実現
- 最大28ノードまでの大規模なクラスタサイズでクラウドのサイロ化を最小限に
- さまざまなCPU、メモリ、ストレージ、GPUリソースの可用性を提供する、9つのベアメタルインスタンスタイプから選択可能

「Nutanix Cloud Clusters はゲームチェンジャーです。AWS上で必要となる重要なサービスの再構築や、リプレースをする必要がなくなり、ほんの数時間で移行できるようになりました。また、ビジネスクリティカルなアプリケーションのディザスタリカバリ保護の強化や、管理業務の簡素化も実現しています。さらに、既存のスキルセットを活用することで、時間とコストの両方を節約できています。」

HAPEV 主任設計者兼技術リーダー
Alexander Milnikel 氏

AWSベアメタル	構成オプション
コンピューティングインスタンス	i4i、m6id、m5d、i3、i3en、z1d、g4dn、i7i、i7ie
プロセッサコア	24～96の物理コア数
メモリ構成	384～1,536 GiB
ローカルストレージ	1.8～120 TB NVMe SSD
オプションのEBSストレージ	7.5 ~ 120TiB (ローカルストレージの最大4倍)

シームレスな調達とサポート

NC2は、グローバルな[AWSのリージョン](#)全体で広範に利用可能であるほか、NutanixとAWSによる共同のカスタマーサポートを受けることができます。

AWS マーケットプレイスを通じて Nutanix ソフトウェア上でトランザクションを行い、さらに AWS ベアメタルで AWS の支出のコミットメントを活用してよりシームレスな調達プロセスを実現します。Nutanix のお客様は、既存のオンプレミスおよびエッジのライセンスをNC2 on AWS 環境にシームレスに移行できます。



図 1: NC2 on AWSリージョンで利用可能な選択肢¹

リソース・詳細情報

その他のNC2 on AWSリソースや教育などについては、次のリンクを参照ください：

- NC2 on AWSの詳細は[こちら](#)
- 無料のテストドライブでNC2 on AWSを体験は[こちら](#)
- NC2 with AWS の [30 日間無料トライアル](#)を開始する
- Nutanix の詳細については、[こちらをご覧ください](#)
- [移行最適化アセスメント](#) (Evolve Services) でクラウド移行戦略を最適化

¹ [NC2 on AWSの展開およびユーザーガイド](#) を表示して、具体的なノード構成の上限および対象の AWS リージョンを確認してください。

NUTANIX

contact-jp@nutanix.com | www.nutanix.com/ja | [@nutanixjapan](https://twitter.com/nutanixjapan)

©2025 Nutanix, Inc. All rights reserved. 本文書に記載された、Nutanix、Nutanixのロゴ、およびNutanixのその他全ての製品とサービス名は、米国およびその他の国においてNutanix, Inc. の登録商標または商標となります。Nutanix, Inc. の登録商標または商標となります。本文書に記載された、その他のブランド名は、識別目的のみに使用されており、それぞれの所有者の商標となります。

PSM - EPC - NC2 on AWS - Data Sheet Refresh - FY25Q3 - AMS_v2_ja-JP_05142025